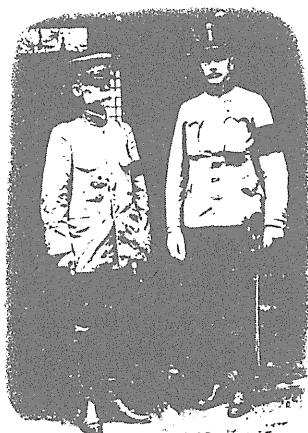
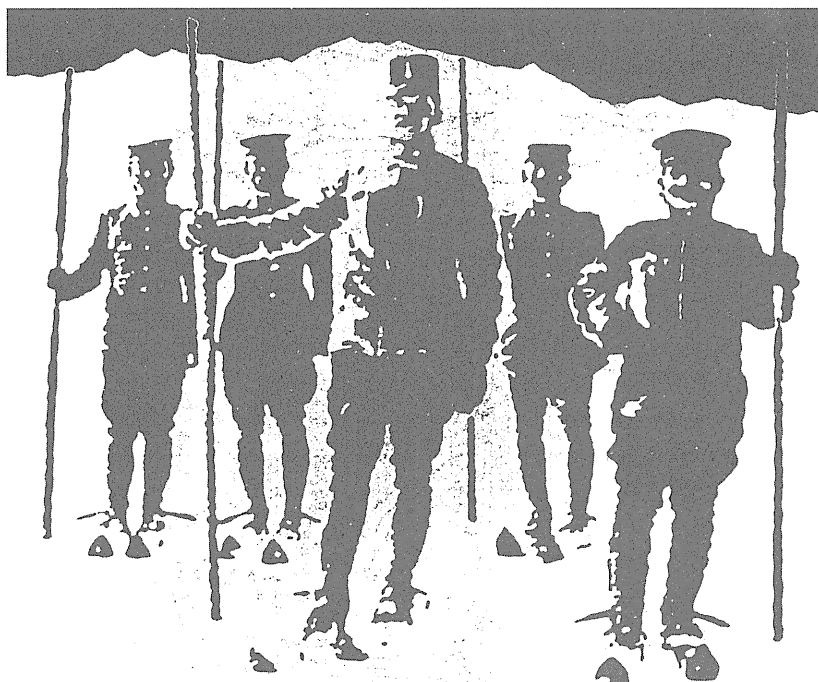


閲覧ニュース

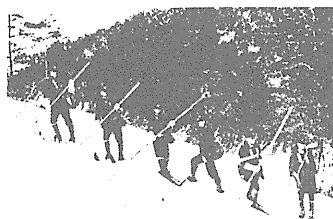
85号

1999.4



レヒル少佐と長岡外史

郵便配達夫



「英語のつぎに何をやりますか」

坂 入 清

『英語のつぎに何をやりますか』というのは本のタイトルです（加藤恭子著、日本英語教育協会発行、1982年）が、「多国語学習のすすめ」という副題がついている同書にならって、私も皆さんに、「英語のつぎに何をやりますか」と問いかけたのです。

皆さんは世界にいくつの言語があると思いますか。世界の言語の総数は数え方によって違ってきますが、約3,000～5,000とも、あるいは8,000とも言われています。言語数に相当の開きがあるのは、ある言語を1言語と見なすか、あるいは方言と見なすかによります。『言語学大辞典』（三省堂発行、1988年～1996年）には3,500余りの言語について、その名称、系統、文字・音韻、形態、文法、語彙、辞書、参考文献等が具体的に記述されていて、言語学の基礎資料になっています（第1巻～第4巻が世界言語編、第5巻が補遺・言語名索引編、第6巻が術語編という構成です。）

また私の手許にCDブック『世界ことばの旅——地球上80言語カタログ』（研究社発行、1993年）があります。DISC1には日本語をイントロダクションとして、朝鮮語、モンゴル語、中国語（北京）からポルトガル語、ブラジルのポルトガル語、バスク語（スペイン）、フランス語、フラマン語（ベルギー）までの41言語が、DISC2にはウェールズ語、アイルランド語、英語、米語からクアアア語（ニューブリテン島）、ピジン英語（パプア・ニューギニア）、アイヌ語、そして人工語であるエスペラント語までの39言語が収録されています。それぞれ1から10までの数え方、日常の簡単な挨拶から詩や小説の朗読、日常生活や学生生活の話、お国自慢等が録音されている、ということです。私自

身このCDに収録されている言語で今までに聞いたことがあるものは、残念ながら非常に限られています。皆さんの中でいろいろな言語に関心のある方はぜひ試聴して下さい。ふだん聞いたことがない（と思われる）アジアやアフリカの諸言語が録音されていて興味深いと思います。わずか80言語を聞くだけでも地球上の言語の多様性に驚かれると同時に、それぞれの言語が持っている独特の響きの美しさを感じ取る（聞き取る）ことでしょう。

皆さんは英語はしっかり学ばなければなりません、英語の他にぜひ第2外国語に挑戦して下さい。本学では第2外国語として現在、ドイツ語、フランス語、中国語しか開講されていません。言語の多様性、あるいはアジアの言語の重要性を考慮すれば、第2外国語として3言語しか学ぶチャンスがないのは不十分と思われますが、いろいろな制約があってやむを得ないでしょう。大学は学問の方法を学び、その後の自己の成長の基礎を培う場所であると思います。外国語については習得のコツを体得すれば、3つ目またはそれ以上の言語は独学で習得できるのではないのでしょうか。

私はドイツ語教師の端くれとして、外国語の学び方等に関する本はできるだけ集めて「積んどく」をしています。『外国語上達法』『外国語の学び方』『私の外国語修得法』『ちょっとした外国語の覚え方』『外国語をどう学んだか』『〇〇語のすすめ』『はじめの〇〇語』等々と書き連ねて行けば、あの本のことかとすぐに思い浮かべる人も多いと思います。『外国語上達法』（岩波新書）に「外国語を学ぶためには、次の三つのものが揃っていることが望ましい。その第一

はいい教科書であり、第二はいい教師で、第三はいい辞書である」とありますが、私自身「いい教師」に恵まれ鍛えていただいたと思っています。しかしお前はいい教師か、と問われれば返答に窮してしまいます。(もっとも自分から、俺はいい教師だ、と答える人はいないと思いますが。)

私の大学時代の恩師は『ドイツ語のすすめ』の著者である藤田五郎先生です(私は不肖な弟子です)が、熱意のこもったユーモアあふれる授業は今でもなつかしく思い出されます。教室に入るや否やドイツ語で話し始めるのです。ドイツ語を専攻している学生を相手にするのだから当然なのでしょうが、こちらはドイツ語を聞き取るのに一生懸命でした。(残念ながら先生は平成9年2月に他界されました。)授業中に習ったことで今でも覚えていることを2つ紹介しましょう。

その1：アリ(蟻)はドイツ語で何と言うか、と先生がドイツ語で質問しました。Ameise(アーマイゼ)という答え(単語)を引き出させるために、ヒントを与えるつもりで「それはカーライゼ(辛いぜ!!)ではなくて…アーマイゼ(甘いぜ!!)」

とおっしゃいました。

その2：形容詞に..keitまたは..heitがつくと女性名詞になりますが、..keitがつくか..heitがつくかは語によって決まっています。keitがつくのは..ig、..bar、..sam、..lichの後で、これを順番に読むとイヒ、パール、ザーム、リヒだから「いばるさむらい」(威張る侍)と覚えなさい、ということでした。

ドイツ語教師が「英語のつぎに何をやればいいですか」と問われれば、答えは必然的に我田引水で「ドイツ語」となってしまうでしょう。

最後に外国語を学ぶためには、文法書を少なくとも一冊は手許において、疑問が生じた時にはすぐに参照できる態勢を整えておくと思いいます。ドイツ語の場合ですと、『詳解ドイツ大文法』『ドイツ広文典』『新独英比較文法』等ですが、これらは教養図書館2階の「講義用参考図書コーナー」に常備されていますから、疑問の解明あるいは授業の予・復習に役立ててください。

皆さんの精進を期待しています。

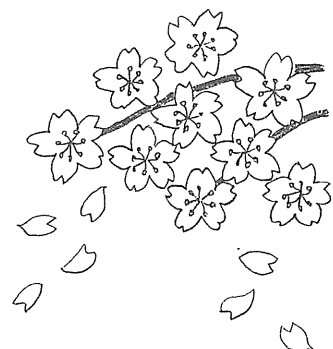
(教養図書館長・ドイツ語)

— 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

フランスの哲学者デカルトは、読書について次のような名言を残しています。

「すべて良き書物をよむことは、過去の最もすぐれた人々と会話をかわすようなものである」と。

図書館は、書物の宝庫です。図書館にある本を目的をもって多に活用してください。



いろいろな学問を勉強しよう

加藤 末広

私は本学で数学を教えている教員である。が、数学及びそれを教えている私に対する新入生の評判は決して芳しいものではない。多くの場合数学は一般教養科目として教えられるのだが、そもそも私自身「加藤先生は教養のある人だ」と言われた経験は一度もない。そこで、まず数学を学ぶことの取り柄について私の感じることを述べ、細やかであるが逆襲を試みたい。よく数学を学ぶ理由として、(ア)数学を通し論理力を養う (イ)数学の知識や考え方は科学の研究や技術にとって不可欠、などが挙げられる。今回はその内、何か掴み所がないと言われがちな数学的な考え方というものに関し例を交えながら少し説明してみたい。

化学の実験で薬品の性質を調べたいとき、試薬を入れその反応を見ることがある。数学の研究でもしばしば行われるやり方として、「図形、方程式の解など調べたい研究対象Aがあったなら、A全体に何か適当なもの(数学用語では群と呼ばれるもの)を作用させ、その様子(或いは影響)を見て、Aについての性質を探り出す。」という方法がある。例を2つ挙げる。

(1) $A = \text{平面}$ (2次元空間)とおき、 A に作用させるものとしてその上の合同変換(図形の折り返し、回転、または平行移動のこと)をとる。

(2) n 次方程式の解の性質を調べたい(例えば、解を求める公式を作りたいなど)とする。このときは、 A としては「この方程式の解全体」、 A の上に作用するものとしては「 A から A への1対1写像」をとる。

(1)について。合同変換で移り合う2つの図形は合同である、このことは中学のユ

ークリッド幾何学の授業で学ぶ。実は、平面を(1)のように捉えることにより、ユークリッド幾何学は普段とは別の形の表現で(必要ならベクトルや行列を用いて)書き直すことが出来、この結果更に理論の理解を深め発展させることができる。ユークリッド幾何学ではなく別の幾何学を考えたいときは、 A やその上に作用するものを別のものに適当にうまく取り替えればよい。例えば、4次元空間を時空間とみなしてこれを A とおき、その上に作用するものとしてポアンカレ群(ローレンツ変換と呼ばれる時間と空間座標の変換、または平行移動)をとると、アインシュタインの特殊相対論で用いられる幾何学が現われる。その際進められる議論は各 A ごと個々別々にではなく統一的にできる部分も多く、そのことが各々の研究対象間の類似や違いなどの比較を容易にする。

(2)について。この場合は、解の上の作用により発生するまわりのいろいろな現象を見て、方程式の解の性質を引き出すことになる。この考え方を整理し生み出されたものがガロア理論である。特にこの理論により「5次以上の方程式を、その係数の四則演算と根号を使っただけで解くことは一般には不可能である」ことが証明出来る。

以上のような「対象物全体に作用を加え結果をみる」といった、視野を全体にとりかつ動的にものを見る方法は現代の数学ではごく一般的に用いられる強力な方法であるが、こうした考え方は数学以外の他の科学に対しても応用がまた十分可能であろう。たまたま今は数学の話であったが、他の科学に対してもそれぞれ特有の研究原理があり、それらをマスターしたと言わずともあ

る程度しっかり勉強すれば、各自の専攻分野に、また（大袈裟にみえるかも知れないが）自分の精神生活に、頼もしい味方になってくれるに違いない。

話はがらっと変わるが、ここ数年子どもたちの間で、キレるといういやな言葉が流行し、また学級崩壊や陰惨な殺人事件が多発するなど、異常な現象が相次いでいる。原因は教育的、社会的な観点から、栄養学的、はたまた遺伝情報の劣化説に至るまでいろいろな説が取り沙汰されている。それらに加え最近では環境ホルモン関連説が注目を集めていることを、私はある本を読んで知った。この説によると、環境ホルモンが脳神経系に影響を与え、そのために行動異常、知的活動の異常などが現れるらしく、特に神経回路そのものが出来ていく発生過程で環境ホルモンを浴びると低レベルの濃度でもその影響は大になるというのである。現実には多分いろいろな原因が複合されて

いると思われるし、また問題自体人間の人格そのものに及ぶことでもある。生物学、脳科学、（様々の種類の）心理学、更に教育学、社会学、それにそれらをサポートする科学を総動員して、しっかりかつ迅速に研究が進んでくれたならばと願っている。

現在学問はその発達や複雑化に伴い、非常に細分化されている。一つの分野を究めていくことはとても大切なことだし、それだけでも大変な仕事である。しかし、近年各分野の相互の関係が深まり、一つの学問を理解するにも（必要に応じ）他の分野の知識や考え方を吸収し、広く総合的に見ていかなければ十分理解出来ないケースが目立ち始めている。そういう意味で、大学生時代にいろいろな学問に関心をもち、専攻分野や自己の知性に磨きをかけてもらいたい、ということに纏めの言葉にしたい。

（数学）

北里大学図書館共通利用カードの交付について



下記の図書館で図書の貸出を受けるときはこのカードを提示して下さい。
このカードを利用できるのは在籍期間のみです。
このカードを紛失したときは速やかに届け出て下さい。
このカードを拾得された方は下記の図書館にご連絡下さい。

北里大学図書館

白 金 図 書 館	03-5791-6225
獣医畜産学部図書館	0176-23-4371（内線463）
医 学 図 書 館	042-778-8712
水 産 学 部 図 書 館	0192-44-3941
看護学部図書館	042-778-9286
理 学 部 図 書 館	042-778-9058
教 養 図 書 館	042-778-8005

当大学の各図書館の本を借りる時は、この「北里大学図書館共通利用カード」が必要です。新入生の皆さんへ5月下旬頃に渡せるよう準備中です。各自の手元に受け取るまでの間借りた本がある人は、図書館カウンターに来て「学生証」を提示してください。貸出手続きをいたします。カード交付の日時は準備が出来次第お知らせしますので、薬学部・水産学部・獣医畜産学部の新入生は「一般教育事務室横の教養図書館専用掲示板」と「教養図書館談話室内掲示板」を見てください。それ以外の学部の新入生は次の図書館の掲示板を見てください。

- * 医学部学生／医療衛生学部学生……医学図書館
- * 理学部学生……理学部図書館
- * 看護学部学生……看護学部図書館

日本のスキー

西 垣 昭

スキーは、スカンジナビア地方で雪原の交通や狩りをするための生活用具として使われていましたが、1860年、ノルウェー王室がスキーの勝者に賞を与えたことから普及し、スポーツ的な発達から国家的スポーツとなりました。その為、ヨーロッパではスキーと言えばノルウェー式が一般を支配し、その後、オーストリアのリリエンフェルトに住んでいたマチアス・ツダルスキーが、アルプスの山々のきわめて急な斜面を滑降する技術（山岳スキー滑降術）を研究し、地名から「リリエンフェルトのスキー術」を確立しました。

日本にスキーが紹介されたのは、1895年、日清戦争に参加した松川某が露満国境から1台持ち帰ったときとされていますが、普及しはじめたのは今から88年ほど前で、マチアス・ツダルスキーの「山岳滑降技術」を基にしたオーストリアのテオドル・エドレル・フォン・レルヒ少佐が伝えたと言われています。

表紙の写真はレルヒ少佐とその当時の「単杖スキー術」です。

レルヒ少佐は駐在武官として日本に派遣され、1911年1月に豪雪地で有名な新潟高田の第13師団に配属されました。少佐は着任早々、スキーを指導し自ら本格的なスキーを製作するなど周りを驚かせました。その後、北海道や富士山をはじめいくつものスキー登山を行い、約2年ほど日本に滞在し一般の人達へのスキーの普及をはかりました。

その後、日本では「スキーの驚異」という映画を製作したアーノルド・ファンク博士が提唱した「アールベルク・スキー術」が話題となり、映画の主演を演じたハンネス・シュナイダーが来日し、公演と実地指導をしながら日本を回りました。また、当時普及したばかりのラジオに出演し、日本のスキー指導に大きな影

響をもたらした歴史を残しました。このころから日本でもスキーのメソッドが芽生えはじめ、スキー技術の教本が出され一般の人達のレジャー・スポーツとして急速に発達しました。

話は飛びますが、現在の生涯スポーツの中でもスキーは人口1500万ともいわれる位に普及発展していますが、ここ5,6年の間にスキーヤーがスノーボーダーへと変わりスキー人口は低迷状態になっていました。この流れをなんとか挽回しようと、スキー界はスノーボードに近い感覚で遊べるスキー、そして初心者にとってもすぐに回転ができ、楽しさを味わえるスキーが開発されました。それが通称「カービング・スキー」です。

しかし、ここに大きな問題となることが起こっています。過去のように長い歴史の中で育ったスキーヤーは、人々の生活の一部からはじまり生活様式・行動範囲も現在と異なり、それなりの体力を備えていたわけです。現代の生活では、基礎体力や運動能力も低下していること、アクセスなども便利になり一瞬の時間に行動ができること、最新の用具（滑りやすい）を使い、スキーの楽しさ（回転技術）を早く身につけることなどができる中、そこには逆の意味で「筋力」が必要になってきています。

カービング・スキーの安全性については、まだ不明な点が多く斜め前方への転倒が起こりやすいことが指摘されています。これはスキー板に限らずスノーボードを含め用具全般に言えることでしょう。96-97シーズンでは死亡事故がスキーヤー14名、スノーボーダーで11名と報告されています。昔の用具に戻ることはできませんが、それなりの体力を備えてから生涯スポーツとしての安全で楽しいスキー、スノーボードを心がけてもらいたいものです。（体育）

閲覧ニュース85号

1999. 4発行

北里大学教養図書館

〒228-8555 相模原市北里1-15-1

発行責任者 坂入 清

電話 (042) 778-8005